

2016 年度卒業生学修成果アンケート報告

2017 年 5 月
教学部委員会

2017 年 3 月卒業式当日に、2016 年度卒業生を対象として大学での学修成果に関するアンケート調査を行った。対象となる学生数は 180 名、アンケート回収数は 164 名、回収率は 91.1%であった。

1. 質問項目

アンケートでは、以下の 12 の能力に関して、学生自身が、大学での授業および活動を通してどの程度身につけられたと考えるか、ということを探ねた。

- ①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解
- ②専門的な知識・技能
- ③ICT 能力（パソコン等を用いて、情報を収集・分析する能力）
- ④コミュニケーション能力（意思疎通、協調性、自己表現能力）
- ⑤外国語能力
- ⑥物事を論理的に考える力
- ⑦文章を作成する力
- ⑧プレゼンテーションをする力
- ⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度
- ⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心
- ⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力
- ⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力

これらの能力の多くは本学のディプロマ・ポリシーで挙げられているものであり、①②は、ディプロマ・ポリシー「1. 知識・技能」、③④は「2. 技能」、⑨⑩は「3. 態度・志向性」、⑪は「4. 総合的な学習経験と創造的思考力」に対応している。それ以外の⑤⑥⑦⑧⑫は、一般に、大学教育で修得、向上が目指されるべきと考えられる能力である。

回答選択肢は、「とても身についた」「ある程度身についた」「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の 4 つとした。以下、「評価点」と呼ぶものは、それぞれを 3 点、2 点、1 点、0 点として算出した平均点である。

2. 全学のアンケート結果

全学で、「身についた」という評価が高かったのは、「②専門的な知識・技能」であり、評価点は 2.32 であった（3 点満点）。それ以外の「①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解」「④コミュニケーション能力」「⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心」「⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力」「⑫

社会的、職業的に自立して生きていくための就業力」についても、比較的高い評価点であり(2.18~2.29)、90%近い卒業生が「身についた」と評価している。

相対的に評価が低かったのは、「⑤外国語能力」(1.36)であった。外国語能力についての評価は、これまで実施してきたほとんどのアンケート調査で最低であったが、今回も同じであった。低評価の割合(「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の合計)は59.8%にのぼる。

「③ICT能力」(1.84)、「⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度」(1.88)に関しても評価は低かった。「③ICT能力」「⑨グローバルな視点」に対する低評価の割合は、それぞれ31.5%、29%であった。

「⑤外国語能力」及び「⑨グローバルな視点」、「ICT能力」に関連する科目(外国語科目、「情報リテラシー」「PCI」)は、全学で必修科目となっており、卒業生はすべてその単位を修得しているはずであるが、実際にはその能力は身につけていないという評価になっている。必修科目であるがゆえに、逆に単位認定が甘くなっているのかもしれない。単位認定の厳格化も含めて、授業のあり方を見直していかなければならないだろう。

なお、これら各項目の評価の傾向は前年度の卒業生とほぼ同じである。全体的には、少々点数が下がっている項目が多いが、それほど大きな変化は見られなかった。

3. 学科別のアンケート結果

学科別で見てみるならば、昨年度に引き続き医療工学科の評価が一番高かった。全学での評価点平均は2.06であるのに対して、医療工学科は2.25であった。中でも救急救命コースの評価は昨年度に引き続き非常に高く、評価点は2.32であった。学科別で他に評価点が高かったのは、国際交流学科(2.19)、トータルビューティ学科(2.18)であった。逆に評価点が低かったのは、健康栄養学科(1.87)、心理臨床・子ども学科(1.96)、スポーツ健康学科(1.96)であった。トータルビューティ学科は、前年度1.91から今年度2.18と10%以上上昇している。逆に心理臨床・子ども学科は前年度2.26から今年度1.96、中でも保育・幼児教育／初等教育コースは2.33から1.92と10%以上低下している。

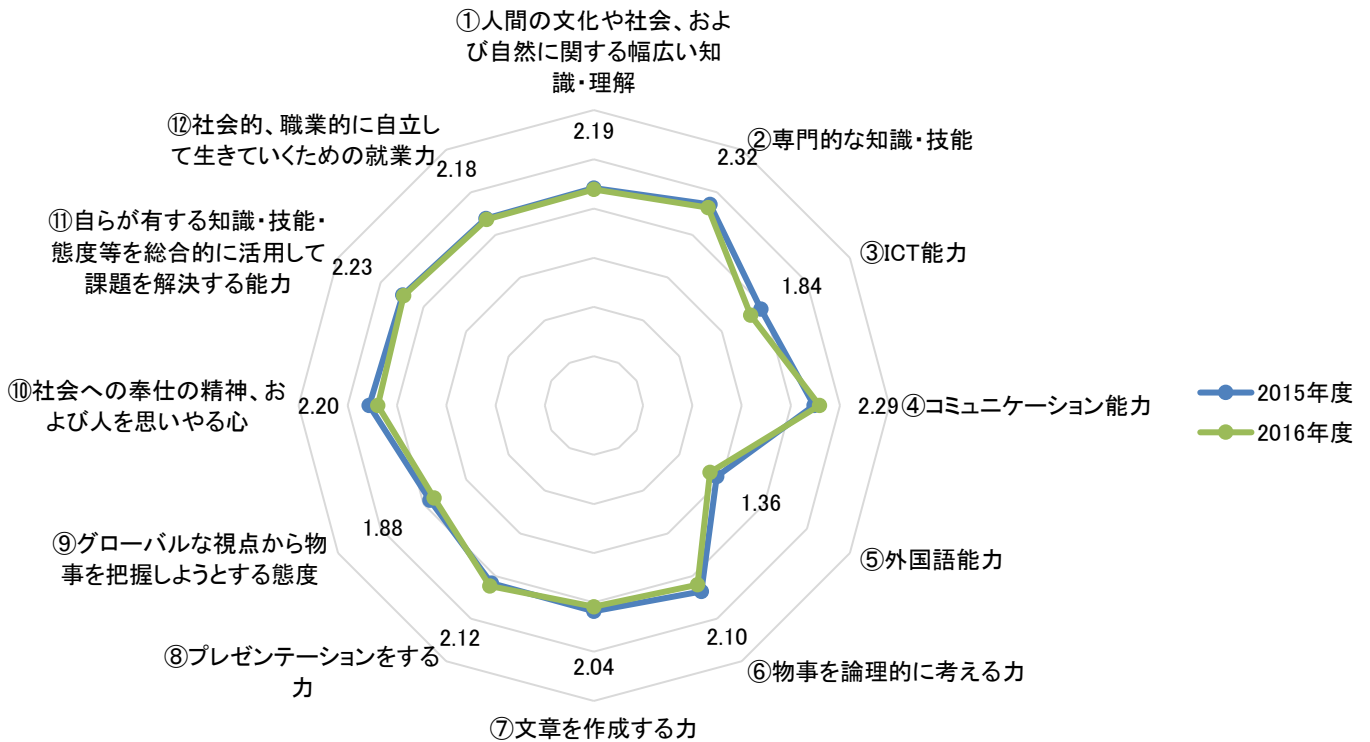
学科別、項目別で見ると、高評価であったのは、国際交流学科の「④コミュニケーション能力」(2.63)、「外国語能力」(2.50)、「グローバルな視点」(2.50)、医療工学科の「①文化、社会、自然に関する知識・理解」(2.40)、「②専門的な知識・技能」(2.52)、「⑩社会への奉仕の精神」(2.40)、「⑪課題解決能力」(2.50)、「⑫就業力」(2.46)、アート・デザイン学科の「②専門的な知識・技能」(2.46)、トータルビューティ学科の「④コミュニケーション能力」(2.50)、「⑩社会への奉仕の精神」(2.50)といったところであった。国際交流学科の「④コミュニケーション能力」に関しては、前年度2.08だったので、20%以上評価点が上昇している。

逆に評価が低かったのは、既述の「外国語能力」以外では、スポーツ健康学科の「③ICT能力」(1.67)、健康栄養学科の「③ICT能力」(1.64)、「⑨グローバルな視点」(1.57)、アート・デザイン学科の「⑨グローバルな視点」(1.50)であった。

これ以外でも、低評価割合が高いものとして、心理臨床・子ども学科の「⑨グローバルな視点」(34.6%)、健康栄養学科「⑦文章を作成する力」(35.7%)、アート・デザイン学科「⑫就業力」(38.5%)、トータルビューティ学科の「⑧プレゼンテーションする力」(38.5%)あたりが挙げられる。

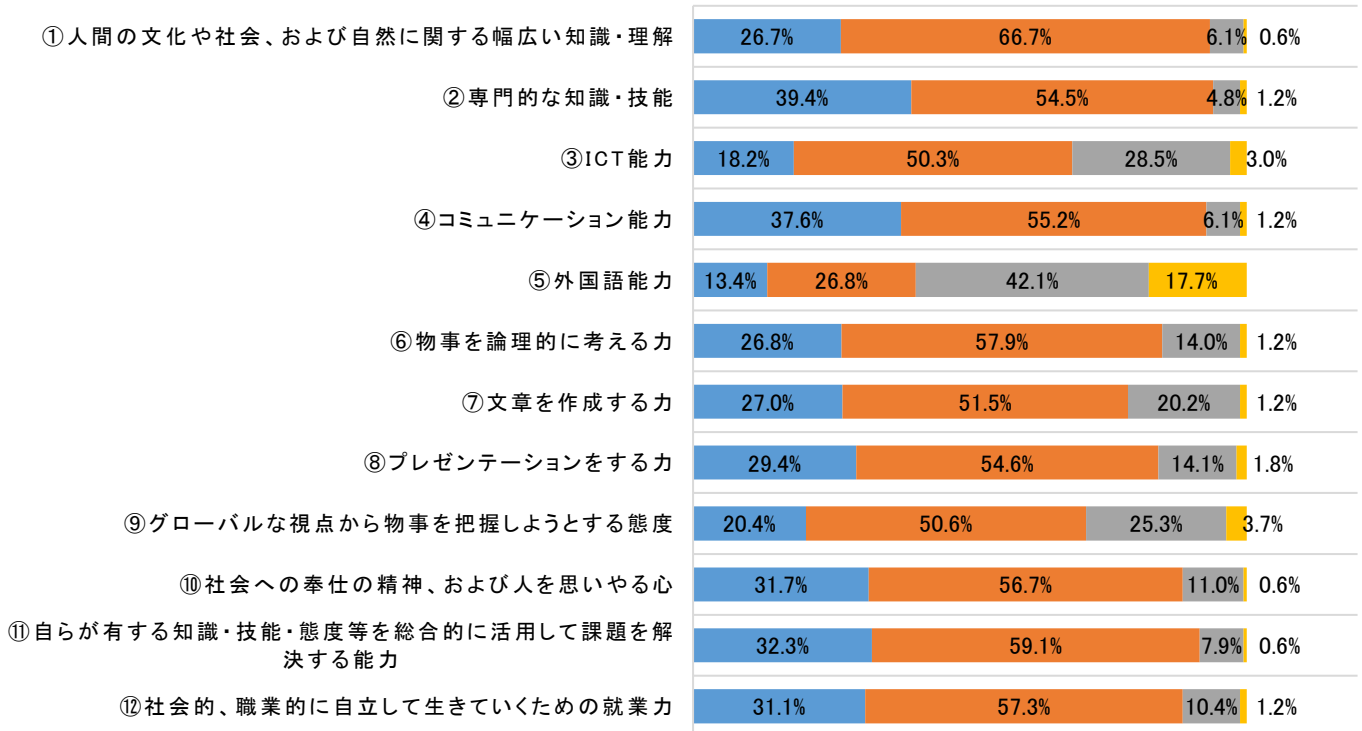
低評価項目の傾向は、だいたい昨年、一昨年と同じである。各学科で低評価項目に関しては、何らかの対策を進めていると思われるが、大きな改善が見られない現状を真摯に受け止める必要がある。学科長、コース長、教学部委員を中心にして、具体的な方策を立てて、カリキュラムと授業内容の見直しを進めていくことが必要であるだろう。

全学評価点



全学評価割合

■とても身についた ■ある程度身についた ■あまり身につかなかった ■まったく身につかなかった



2016 年度学科別評価点

	心理子ども	国際交流	スポーツ	医療工	健康栄養	デザイン	TB	全学
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	2.00	2.00	2.13	2.40	2.00	2.38	2.33	2.19
②専門的な知識・技能	2.30	2.00	2.19	2.52	2.21	2.46	2.33	2.32
③ICT 能力	1.74	2.13	1.67	1.96	1.64	2.00	2.33	1.84
④コミュニケーション能力	2.22	2.63	2.27	2.33	2.14	2.23	2.50	2.29
⑤外国語能力	1.15	2.50	1.17	1.54	1.14	1.54	1.00	1.36
⑥物事を論理的に考える力	2.00	1.88	2.04	2.33	1.79	2.15	2.17	2.10
⑦文章を作成する力	1.92	2.25	2.04	2.19	1.71	2.00	2.00	2.04
⑧プレゼンテーションをする力	2.08	2.00	2.02	2.23	2.07	2.31	2.00	2.12
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	1.69	2.50	1.77	2.08	1.57	1.50	2.33	1.88
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	2.12	2.13	2.06	2.40	2.14	2.00	2.50	2.20
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	2.15	2.13	2.08	2.50	2.07	2.15	2.33	2.23
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	2.12	2.13	2.10	2.46	1.93	1.85	2.33	2.18
平均	1.96	2.19	1.96	2.25	1.87	2.05	2.18	2.06

学科別低評価割合 ※「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の割合

	心理子ども	国際交流	スポーツ	医療工	健康栄養	デザイン	TB	全学
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	14.8%	0.0%	10.4%	2.1%	7.1%	0.0%	0.0%	6.7%
②専門的な知識・技能	0.0%	0.0%	10.4%	6.3%	0.0%	7.7%	16.7%	6.1%
③ICT 能力	25.9%	25.0%	39.6%	29.2%	35.7%	30.8%	16.7%	31.5%
④コミュニケーション能力	7.4%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	15.4%	0.0%	7.3%
⑤外国語能力	76.9%	0.0%	68.8%	54.2%	64.3%	38.5%	66.7%	59.8%
⑥物事を論理的に考える力	11.5%	25.0%	20.8%	8.3%	21.4%	15.4%	16.7%	15.2%
⑦文章を作成する力	23.1%	0.0%	20.8%	19.1%	35.7%	30.8%	16.7%	21.5%
⑧プレゼンテーションをする力	15.4%	12.5%	21.3%	14.6%	14.3%	0.0%	33.3%	16.0%
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	34.6%	0.0%	31.9%	18.8%	50.0%	58.3%	0.0%	29.0%
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	11.5%	12.5%	18.8%	6.3%	7.1%	15.4%	0.0%	11.6%
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	3.8%	0.0%	16.7%	2.1%	7.1%	23.1%	0.0%	8.5%
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	7.7%	0.0%	14.6%	4.2%	21.4%	38.5%	0.0%	11.6%